

## 所 信

2018年度（一社）陸前高田青年会議所  
第46代理事長 菅野 隼

陸前高田青年会議所第46代理事長として所信を述べるに当たり、先ずは45年もの長きにわたり、責任感と情熱を胸に、明るく活気溢れる未来の実現に向けて日々運動を展開されてきた先輩諸兄に対し、心から敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。

我々は、この歴史と紡がれた思いを決して忘れず、ただ漫然と日々を過ごすのではなく、溢れるほどの夢を描き、創意工夫を重ね、新しい価値を創造していかなければなりません。

### 【はじめに】

陸前高田及び住田に住み暮らす我々にとって、2011年の東日本大震災で負った傷跡は決して消えることはなく、あの日を境に、そこに在って当たり前だった日常が一変したのは今後どれだけの時間が過ぎようとも変わらない事実です。しかし、失われてしまったまちの輝きを取り戻すべく、あの日から7年が過ぎようとしている今日においても、一日一日を直向に、そして一歩ずつ確実に復興へ向けて前進しています。

我々は、震災によって失った大切なものと、気付かされた多くのこと、そして多くの人との繋がりを未来へと受け継ぐため、物質的にはどんな条件下にあらうとも、そもそも今自分が生きている、生かされているということを思い、誰に対しても、何に対しても、いいときはもちろん、悪いときも、ありがとうと感謝する心を涵養し、笑顔あふれるまちの姿を思い描き続ける使命があります。

### 【利他の心】

人は、もともと世のため人のために何かしたいという善の心を備えているものです。利他とは、人が持つ自然な心の動きであり、他人のことを思い、他人のために尽くすことが、他人の利だけにとどまらず、めぐりめぐって自分も利することにつながります。

我々の運動は、自分以外の愛するものの笑顔のため、さらにはこのまちの未来のために思い行動することで、大きな価値を生み出すと同時に、自分自身の成長へと繋げていくことが最大の目的であると考えます。一つひとつの行動を、感謝と謙虚さをベースにした他人を思いやる心を持ち進めていくことで、このまちのことを思う人を増やし、人から人へとその思いを伝承させ、明るい未来の一步へと繋げていかなければなりません。

### 【笑顔溢れる未来の創造】

笑顔の人がいるだけで、その場が明るくなり穏やかな心にさせられます。人の笑顔には、自分だけではなく、周りの人をも幸せな気分させる力があり、このまちの未来を思い描くとき、自分だけではなく、家族や友人、愛するものの全てが笑っていてほしいと願ってやみません。しかし、このまちが抱える課題は、復興のほかにも、医療や福祉、教育など数多く存在し、決して笑顔ではいられない状況へと少しずつ、かつ確実に進んでいます。

このような状況の中で、人を笑顔にし、このまちの、ひいては地域全体の明るい未来を創造していくためには、今までどおりの限定的な発想ではなく、視野を広げ、視点を変え、未だかつてない独創的な発想から、このまちの進むべき道、あるべき姿を見つめなおしていく必要があります。

### 【ひとりでも多くの仲間と出会い共有する】

多くの人と出会い、その人の考えや価値観に触れることは、自分自身の考え方や行動を見直すことにつながるだけではなく、人生にとって貴重な経験や機会となり、かけがえのない財産になると考えます。人は一人では生きられないと言われるように、たった一人の力でだせる効果より、同じ思いを持った仲間と一緒にベクトルを合わせ突き進むことができれば、より大きな効果をこのまちに生み出すことに繋がります。

陸前高田及び住田の魅力は人そのものであり、人こそが価値です。このまちに関わる全ての人が見知りになれば、どんな面白いことでもできるような、そんな気さえしてきます。年齢や業種の枠を超え、我々の考えや楽しさを共有し合える仲間を一人でも多く増やし、陸前高田及び住田に住み暮らす青年が一丸となって取り組むことができれば、運動の発信力を高めることができ、最も効率的かつ効果的に、活力に溢れたまちとして持続していくことができるはずです。

### 【小さな夢から大きな成長へ】

子どもの夢はどのように生まれ、育っていくのだろうか。そしてその過程において我々大人は何を伝えることができるのだろうか。未来を担う子ども達に、夢と希望を与える機会を通して、このまちの未来を描き創造できる自立した大人へと成長出来るよう取り組んでいかなければならないと考えます。そのためには、我々自身が子どもを信じ、溢れる愛で温かく見守る強い信念と優しい心を持つことが必要です。

現在（いま）を担う我々が、現代社会が抱える課題と向き合いながら、自らを律する強

い心と、他を思う優しい心を根付かせ、震災のせいで夢を諦め、未来に希望を持ってない子ども達を生まないためにも、「生きる力」の基礎として、どんな小さな夢でも応援し、子ども達が健やかに成長できる仕組みづくりを行っていかねばなりません。

### 【創意工夫で想像を越える】

人はどんなに効率的な時間の使い方をしたとしても、一日に与えられた時間そのものの長さを変えることはできません。夢を現実に変え、思いを成就させるためには、安易に近道を選ばず、一日一日を懸命、真剣、地道に積み重ね継続していく必要があります。しかし、継続と反復とは異なったもので、昨日と同じことをただ漫然と繰り返すのでは意味をなしません。社会の流れの中でより高みを目指すためには、昨日の努力に少しの工夫と改良を上乗せして、わずかでも前進するという創意工夫する心を持ち続ける必要があります。過去を紐解き、現状を分析し、失敗を恐れずに個が持つ価値観から創意工夫を続ける中で、我々の運動が昇華し、それと同時に人間的な魅力と組織全体の魅力をも向上させることにつながるはずです。

### 【結びに】

我々は、何事においても楽しむという心を忘れてはならない。どれだけ大きな夢を描き、できそうにもないことを語り、とにかく楽しむことが必要です。自分も相手も笑顔で楽しむ、そんな陸前高田青年会議所であるならば、このまちの未来は明るく活気溢れた輝けるものになっていくのではないだろうか。人生は誰かに与えられたものではなく、自分で切り開いていくものです。人は、楽しいことや幸せなことがあるから笑うのではなく、楽しいことを見つけ笑うからこそ幸せを感じることができるものです。全ての事に楽しむ事を意識し、我々の笑顔で愛するものを笑顔にし、その輪を広げることで笑顔あふれるまちを創造していきましょう。

その先の笑顔へ、  
愛するもののために

## 2018年度（一社）陸前高田青年会議所基本計画

### 2018年度（一社）陸前高田青年会議所スローガン

その先の笑顔へ、  
愛するもののために

### 基本理念

すべての事に楽しむ事を意識する  
他人（ひと）を思い、他人（ひと）に尽くす

### 基本方針

- 1, 利他の心で相手の笑顔と自己成長を実現する会員の育成
- 2, 地域の明るい未来を創造する事業の実施
- 3, 組織の力と魅力を向上させる事業の実施
- 4, 子どもの夢と未来への可能性を育成する事業の実施
- 5, 笑顔溢れるハロウィン事業の実施
- 6, LOM内外の事業への積極的な参加
- 7, 行政、他団体及び他LOM等との連携
- 8, 会員拡大の更なる実践

### 基本計画

- 1, 相手のことを考え、会員それぞれ役割をもった委員会活動を行う
- 2, 地域の現状を見据えた独創的な事業を行う
- 3, 魅力の共有から組織の力を向上させる事業を行う
- 4, 子ども達の夢（未来）をサポートし、健やかに成長する為の事業を行う
- 5, 柔軟思考のハロウィン事業を企画立案及び運営する
- 6, LOM、岩手ブロック、東北地区及び日本事業への積極的な参加を実践する
- 7, 行政、他団体及び他LOMとの交流や協同事業を行う
- 8, JCの魅力、個々の魅力を発信し、会員拡大を行う

2018年度 一般社団法人陸前高田青年会議所 収支予算書  
2018年1月1日から2018年12月31日まで

科目	本年度予算額	前年度予算額	増減	摘要
<b>I 事業活動収支の部</b>				
<b>1. 事業活動収入</b>				
①入会金収入	312,000	108,000	204,000	
入会金収入	312,000	108,000	204,000	12,000円×会員拡大26名
②会費収入	4,020,000	2,460,000	1,560,000	
正会員会費収入	1,920,000	1,680,000	240,000	80,000円×現会員24名
新入会員会費収入	2,080,000	720,000	1,360,000	80,000円×+会員拡大26名
特別会員会費収入	20,000	60,000	-40,000	20,000円×1名
その他会費収入	0	0	0	
③事業収入	0	1,050,000	-1,050,000	
登録料収入	0	1,050,000	-1,050,000	
広告料収入	0	0	0	
販売収入	0	0	0	
雑収入	0	0	0	
④補助金等収入	0	0	0	
国庫補助金収入	0	0	0	
地方公共団体補助金収入	0	0	0	
民間補助金収入	0	0	0	
補助金等交付業務受託収入	0	0	0	
国庫助成金収入	0	0	0	
地方公共団体助成金収入	0	0	0	
民間助成金収入	0	0	0	
⑤負担金収入	0	90,000	-90,000	
受取負担金収入	0	90,000	-90,000	
⑥寄付金収入	0	100,000	-100,000	
受取寄付金収入	0	100,000	-100,000	
受取募金収入	0	0	0	
⑦雑収入	200,100	120,100	80,000	
受取利息収入	100	100	0	
その他雑収入	200,000	120,000	80,000	手帳・名刺代4,000円×24名
⑧他会計からの繰入金収入	0	0	0	
特別会計からの繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入計	4,532,100	3,928,100	604,000	
<b>2. 事業活動支出</b>				
①事業費支出	1,090,000	2,310,000	-1,220,000	
地域の未来創造委員会(社会開発委員会)	200,000	150,000	50,000	
組織の力向上委員会(指導力・会員開発委員会)	200,000	200,000	0	
子供の夢育成委員会(青少年開発委員会)	200,000	100,000	100,000	
ハロウィン運営委員会	300,000	0	300,000	
45周年特別室		1,700,000	-1,700,000	
執行部	150,000	120,000	30,000	
事業雑費	40,000	40,000	0	
②管理費支出	2,423,128	872,912	1,550,216	
通信運搬費支出	127,500	127,500	0	切手
消耗品費支出	25,000	25,000	0	封筒代【長3】10,900円【角2】12,200円(税別)・事務用品代
修繕費支出	0	0	0	
印刷製本費支出	264,000	216,000	48,000	手帳1,000円+名刺3000円×50名、手帳OB・予備分1000円×40、コピー使用料24,000円
水道光熱費支出	112,000	112,000	0	灯油代、JCルーム共益分
消耗什器備品費				
賃借料支出	10,000	10,000	0	JCルーム土地代負担金
保険料支出	0	0	0	
渉外費				
JC間渉外費	24,000	16,000	8,000	
諸渉外費	10,000	10,000	0	観光物産協会
大会諸費	8,000	8,000	0	京都会議
慶弔費	15,000	15,000	0	
支払手数料支出	7,500	7,500	0	銀行振込み手数料
租税公課	92,600	92,600	0	県・市民税、登録免許税、収入印紙
雑支出	87,528	33,312	54,216	バッジ1,600円、ネームプレート1,700円×8名、送料864円
管理・運営予備費支出	1,640,000	200,000	1,440,000	
③負担金支出	1,005,824	730,550	275,274	
日本JC会費支出	445,324	272,550	172,774	=基本金(30000円)+付加金(5000円*会員数)+JCI会費(131円*会員数)+国際協力費(1825円*会員数)
出向者負担金支出	0	0	0	
We BELIEVE購読料支出	147,000	90,000	57,000	49名×3,000円
地区負担金支出	78,500	128,000	-49,500	=基本金(5000円)+付加金(1500円*会員数)
ブロック負担金支出	335,000	240,000	95,000	=基本金(90000円)+付加金(5000円*会員数)
④他会計への繰出金支出	0	0	0	
特別会計への繰出金支出	0	0	0	
事業活動支出計	4,518,952	3,913,462	605,490	
事業活動収支差額	13,148	14,638	-1,490	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
<b>1. 投資活動収入</b>				
投資活動収入計	0	0	0	
<b>2. 投資活動支出</b>				
①固定資産取得支出	0	0	0	
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	0	0	0	
<b>III 財務活動収支の部</b>				
<b>1. 財務活動収入</b>				
①借入金収入				
財務活動収入計	0	0	0	
<b>2. 財務活動支出</b>				
①借入金返済支出				
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
<b>IV 予備費支出</b>				
当期収支差額	13,148	14,638	-1,490	
前期繰越収支差額	4,191,820	4,172,464	19,356	
次期繰越収支差額	4,204,968	4,187,102	17,866	

2018年度（一社）陸前高田青年会議所組織図

